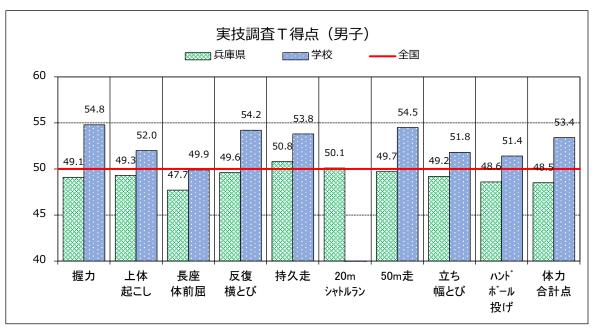
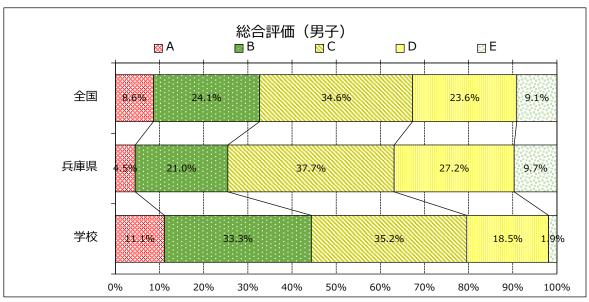
# 令和5年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について

## 3. 本校 体力テスト 結果・考察

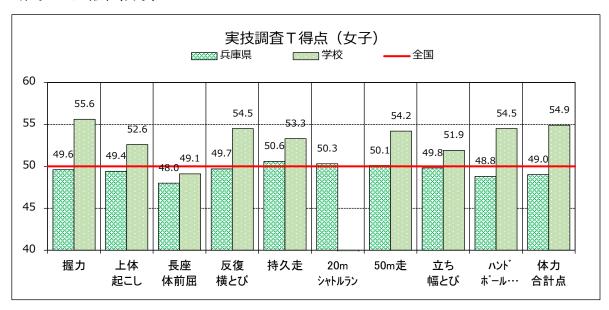
○体力テスト結果(男子)

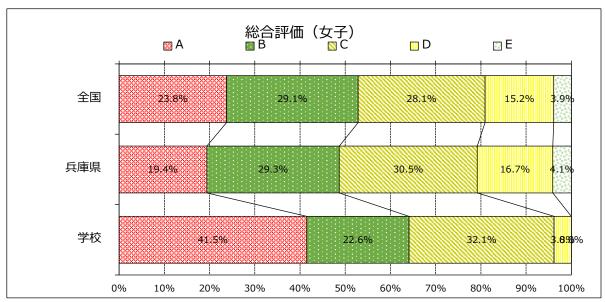




用語	解説
標本数	・平均値、標準偏差、T得点を算出した人数
平均値	・調査結果(テスト成績)の算術平均値で集団の尺度上の位置を示す。 「平均値=調査結果の総和/標本数」
標準偏差	・調査結果の個人差の大きさを示す。平均値士標準偏差の範囲内に全体の68%が入る。 ・平均値士標準偏差の3倍の範囲内にほぼ全体が入る(いずれも正規分布の場合) 「標準偏差=分散の平方根、分散=偏差平方和/(標本数-1)、 偏差平方和=偏差の平方の総和、偏差=調査結果-平均値」
T得点	・全国平均値に対する相対的な位置を示し、単位や標準偏差が異なる調査結果を比較する 平均値50点、標準偏差10点の標準得点。「T得点=50+10×(調査結果-平均値)/標準偏差」

#### ○体力テスト 結果(女子)





#### 【考察】

- ・男女ともに体力合計は、全国、兵庫県の平均を上回っている。
- ・特に、握力、50m走などの筋力、瞬発力を測定する種目の得点が高い。
- ・長座体前屈が、平均以下であり、体が硬い生徒が多いことが考えられる。(ケガの要因につながる)

### 【改善策】

- ・体をほぐす運動(ストレッチ等)を授業や生徒会(保体委員会)などで紹介し、実践するよう促す。
- ・個人の体力テストの結果を分析し、個々の課題をみつけ、改善方法について考察する時間を設ける。
- ・学校全体に体力テストの結果を紹介し、運動部の顧問を中心に、体つくり、体ほぐしの運動を取り入れる。

### 4. 種目別 男女別結果

